山脇議員の一般質問①

官製談合・収賄事件の全容解明と再発防止は待ったなし

米原市民報
日本共産党米原市会議員
山脇正孝TEL52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局藤田正雄TEL55-1128
http://www.jcp-maibarashigidan.com/

11・12日と一般質問が行われました。山脇議員の一般質問と市当局の答弁を掲載します。

全容解明の取組は

Q、官製談合が生じた背景や原因など「司直の手」にゆだねることなく市の責任で、真相の全容解明に努めるべきではないか。

A、現在、被疑者が接見禁止となっており、事実確認は元より事件の原因や背景を聴取することが困難であり、警察の捜査に全面的に協力することが、早期の事件の全容解明につながるものと考えております。今後、事件の全容が明らかとなった段階で、事件の要因等を検証するとともに、更なる不祥事再発防止対策を講じ、法令遵守や綱紀粛正を徹底していきたい。

風通しのよい職場

Q、職員間で何でも話し合えるよう、風通しのよい職場関係を構築するために、どんなことを行っているか。

A、市では、日々の朝礼や終礼を通して、課内での情報の共有化を図るとともに、月次での課内会議では、仕事の進捗を相互に確認して調整するよう努めております。また、年間を通して、外部研修に参加した職員が、職場内で研修を行い情報共有およびコミュニケーションの促進を図っている。

発注者の綱紀保持規定

Q、市議会とも協力し、不祥事を根絶するよう抜本的な対策は。

A、去る6月1日に、副市長と各部局長で組織するコンプライアンス推進会議を開催したところです。今回の事件の背景のひとつとして発注事務における倫理欠如があったと考えられることから、会議の結論として、早急に発注者の綱紀を保持する規程を定めるとしています。また、不祥事に対する知識を深め再発防止の意識を高めるため、官製談合防止法等に関する全体研修会を開催します。市議会に対しましては、今後も見直し等を行ったときには、速やかに報告し、ご意見等賜りたい。

くじによる最低制限価格は

Q、最低基準価格にくじで引いた係数をかけて最低制限価格を算出する入札方法は、入札情報が漏れることを前提にしたような制度であり再検討を行うべきである。

A、現在の入札制度は、過去に発生した職員の不祥事の再発防止のため導入しているものです。しかし、今回発生しました事件については、今後、事実関係が明らかになった段階で、現行制度の検証をおこないます。

民間放課後児童クラブの助成は

Q、3月定例会で市長が「民設であろうが公設であろうが、決して差があってはならないと基本的に考えていますので、4月以降、課題・事情など十分勘案して対応していきたい」と答弁したが、この答弁にもとづき、民間放課後児童クラブに補助金助成を行うべきである。

A、3月議会において、民設と公設の差や課題などについて十分勘案することとしており、4月以降対応策を検討してまいりましたが、現時点では制度設計は十分ではありません。市とて民間運営で国の基準を満たす場合においては、国、県の補助金を活用し財政支援を行うべきであるとの方針を持っています。今後も、課題整理を行い、支援する方向で制度設計を検討していきます。

Q、厚労省が行っている「処遇改善事業」および「キャリアアップ処遇改善事業」を利用するなど、児童クラブ支援員の待遇改善を行うべきである。

A、キャリアアップ処遇改善事業は、支援員の経験年数や研修実績に応じた賃金改善に利用でき、本市では、本年1月からこの事業を活用して、賃金単価を上げることにより、支援員の処遇改善に取り組んでいます。また、処遇改善等事業は、本市では対象となる放課後児童クラブはありません。

雑感　前号の「雑感」欄の内容について、山脇議員に3点の質問状が「清風クラブ」の磯谷晃代表より提出されています。具体的な内容や回答については、次号にしたいと思っています。この欄は、思いつくまま書いていますが、事実に基づかない今流にいえば「フェイクニュース」は許されません。あくまでも一般的に常識ある米原市民の感覚で書いているつもりです。ご意見はお受けしますのでどしどしお願いします。